

自動車 NO_x・PM 法に基づく
自動車使用管理計画・実績報告
作成の手引き

令和7年度(令和6年度実績報告)用

1 自動車使用管理計画・実績報告について	1
(1)制度の概要	1
(2)自動車使用管理計画(令和3～7年度)について	2
(3)自動車使用管理実績報告について	3
2 自動車使用管理計画の立て方について	4
3 作成の手順	5
(1)「自動車使用管理計画・実績報告」様式の構成	5
(2)自動車使用管理計画の記入方法	6
様式 1-1(計画表紙)	6
様式 1-2(対象自動車)	7
様式 1-3(計画措置)	10
様式 1-4(計画代替)	11
様式 1-5(計画事業場)	13
(3)自動車使用管理実績報告の記入方法	14
様式 2-1(実績表紙)	14
様式 2-2(対象自動車)	15
様式 2-3(実績措置)	16
様式 2-4(実績代替)	17
様式 2-5(実績事業場)	19

- 管理計画につきましては、令和3～6年度に提出された場合は作成不要です。
- 実績報告につきましては、毎年度6月末までに提出が必要です。

令和7年4月

大阪府 環境保全課

1 自動車使用管理計画・実績報告について

(1) 制度の概要

「自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法」(自動車 NOx・PM 法)により、大阪府の対策地域(※1)に使用の本拠の位置を有する対象自動車(※2)を **30 台以上**使用する事業者(※3) (**「特定事業者」**といいます)は、事業活動に伴い自動車から排出される窒素酸化物(NOx)及び粒子状物質(PM)を抑制するため、5年ごとに「自動車使用管理計画」を作成し、毎年、その実績を翌年度の6月末までに大阪府知事へ報告(「自動車使用管理実績報告」)することが義務付けられています。

※1 対策地域

大阪府37市町(能勢町、豊能町、太子町、河南町、千早赤阪村、岬町を除く府内全市町)



※2 対象自動車

乗用自動車、貨物自動車、バス、特種自動車

(電気自動車、燃料電池自動車、

軽自動車、特殊自動車、自動二輪自動車を除く)

なお、特定事業者が使用する対象自動車を「**特定自動車**」といいます。

— 注意 —

- 販売目的の車両を除きます。

新車や中古車販売など、販売を目的として数か月だけ展示している車や、販売に先立って顧客に試乗させるために数か月間、車検登録していたような車両は、法の趣旨に馴染まないため管理計画の対象外とします。

- 車検証の「使用者の氏名又は名称」欄に事業者名が記載されていれば、リース車両であっても対象となります。

- 車検証の「使用の本拠の位置」欄が大阪府の対策地域であれば、実際の走行場所が大阪府外であっても対象となります。

- 軽自動車とは、「40～49・480～499」「50～59・580～599」「80～89・880～899」のナンバープレート(分類番号)のものとします。(※軽自動車は「対象自動車」ではありません。)

※3 自動車運送事業者等は、国土交通省の定める様式で近畿運輸局に提出となります。

(2) 自動車使用管理計画(令和 3～7 年度)について

管理計画については、R3～6 年度
に提出済の事業者様は不要

➤ 提出様式

「自動車使用管理計画・実績報告」の様式(エクセルファイル)を以下からダウンロードしてください。

○大阪府 HP「自動車使用管理計画書」及び「自動車使用管理実績報告書」の提出について

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o120070/kotsukankyo/haigasunopm30.html>

※様式は「30 事業場 500 台用」「150 事業場 3,000 台用」「150 事業場 10,000 台用」がありますので、事業場数と車両台数について事業者の規模にあわせて選択してください。

※それ以上の事業場や車両の場合は、お手数ですが大阪府までご連絡ください。

➤ 提出ファイル名 “事業者番号”+“社名略称”+“計画年度”+“計画”

(例) 令和7年度に管理計画を提出する場合 「651〇△R7 計画.xlsx」

※“事業者番号”(半角)は、過去に提出した実績報告書ファイル名に含まれる数字です。

新たに特定事業者となられた場合は、大阪府にご連絡ください。

※英数字は半角、“社名略称”は 5 文字以内で表記してください。

➤ 作成

3 作成の手順 (2) 自動車使用管理計画の記入方法にしたがって、作成ソフトの様式 1-1～1-5(計画シート)に入力して作成してください(水色のセル部分が必須入力項目)。

※実績シートの削除を行わないでください。

➤ 提出期限

・新たに特定事業者となった場合

特定事業者該当することとなった日から三月以内

➤ 提出方法

大阪府行政オンラインシステムでご提出ください。添付できるファイル容量は 10MB までです。

<https://lgpos.task-asp.net/cu/270008/ea/residents/procedures/apply/16c64c21-bb5d-4ea8-9792-8515654d23c4/start>

ID とパスワードを取得の上、ご申請ください。

※大阪府行政オンラインシステムで申請できない場合

次のいずれかの方法でご提出ください(副本の返送はいたしません)。

郵 送: ファイルを記録した電子媒体(CD など)を印刷物(計画シート)とともに送付

メール: 以下の件名で電子メールにより送信

電子メール件名: “事業者番号”+“社名略称”+“_計画提出”

(例) 「651〇△_計画提出」

(3) 自動車使用管理実績報告について

➤ 提出様式

① 管理計画提出年度の実績を翌年度に報告する場合

提出した管理計画書のファイルをコピーしたファイルを用意し、次の提出ファイル名を付けます。

② ①以降に、前年度実績を報告する場合

前年度に提出した実績報告書ファイルをコピーしたファイルを用意し、次の提出ファイル名を付けます。 ※様式 2-2 において前回の実績値は消去してください。

➤ 提出ファイル名 “事業者番号”(半角)＋“社名略称”(5 文字以内)＋“実績年度”＋“実績”

(例) 令和6年度実績を令和7年度に報告する場合 「651〇△R6 実績. xlsx」

➤ 作成

3 作成の手順 (3) 自動車使用管理実績報告の記入方法 にしたがって、様式 2-1～2-5(実績シート)に入力して作成してください(水色のセル部分が必須入力項目)。

※計画シートの削除を行わないでください。

➤ 提出期限 **毎年 6 月 30 日まで**

➤ 提出方法

大阪府行政オンラインシステムでご提出ください。添付できるファイル容量は 10MB までです。

<https://lgpos.task-asp.net/cu/270008/ea/residents/procedures/apply/6c0de0bf-2b40-40d6-93f0-0f2605af3626/start>

ID とパスワードを取得の上、ご申請ください。

※大阪府行政オンラインシステムで申請できない場合

次のいずれかの方法でご提出ください(副本の返送はいたしません)。

郵 送: ファイルを記録した電子媒体(CD など)を印刷物(計画シート)とともに送付

メール: 以下の件名で電子メールにより送信

電子メール件名: “事業者番号”＋“社名略称”＋“_実績報告”

(例)「651〇△_実績報告」

➤ 特定自動車が **30 台未満** となった場合は、お手数ですが大阪府にご連絡ください。

・30 台未満となった年度の方までは実績報告が必要です。(2 年連続で 30 台未満であった場合、2 年目の報告は不要)

➤ **計画内容を変更**する場合は、変更届が必要です。事前に大阪府へご連絡ください。

(4) お問い合わせ・提出先

大阪府 環境農林水産部環境管理室 環境保全課 環境計画グループ

【住 所】〒559-8555 大阪市住之江区南港北 1-14-16 大阪府咲洲庁舎 21 階

【電 話】06-6210-9587 (直通) 【E-mail】kankyokanri-g07@sbox.pref.osaka.lg.jp

管理計画については、R3～6 年度
に提出済の事業者様は不要

2 自動車使用管理計画の立て方について

《大阪府の審査確認事項》

次の点に従って管理計画を立ててください。

① 様式1－3(計画措置)

排出量抑制の取組みについて、“適正運転の実施”※、“車両の維持管理”を必ず計画事項としてください。また、“公共交通機関の利用の促進”について取組可能な事業者は、併せて計画事項としてください。

※ エコドライブ

大阪府は自動車環境対策の一環として、事業者の皆様によるエコドライブの取組みを推進しています。大阪府 HP「エコドライブの推進」↓

https://www.pref.osaka.lg.jp/o120070/kotsukankyo/haigasu/ecodrive_index.html

※ アイドリングストップの徹底

大阪府では「大阪府生活環境の保全等に関する条例」に基づき、すべての自動車について大阪府域でのアイドリングを禁止しています。

② 様式1－4(計画代替)

特定自動車の代替について、計画作成時点の使用車両よりも NOx 排出量及び PM 排出量がより少ない低公害な車両に転換を進めるよう計画してください。

※対象自動車から軽自動車へ代替する場合は、特定自動車の台数の削減となります。

3 作成の手順

(1) 「自動車使用管理計画・実績報告」様式の構成

本様式は下表のシートにより構成されており、一つのエクセルファイルで、自動車使用管理計画の作成と自動車使用管理実績報告の作成が可能です。

※本様式のシートの削除を行わないでください。



	シート名	内容
自動車使用 管理計画	様式1-1(計画表紙)	自動車使用管理計画書の表紙
	様式1-2(対象自動車)	管理される自動車の一覧
	様式1-3(計画措置)	適正運転の実施等及び車両走行量の削減の計画
	様式1-4(計画代替)	特定自動車代替計画、排出ガス低減装置装着計画
	様式1-5(計画事業場)	事業場別の特定自動車の台数
自動車使用 管理 実績報告	様式2-1(実績表紙)	自動車使用管理実績報告書の表紙
	様式2-2(対象自動車)	管理される自動車の一覧
	様式2-3(実績措置)	適正運転の実施等及び車両走行量の削減の実施状況
	様式2-4(実績代替)	特定自動車代替状況、排出ガス低減装置装着状況
	様式2-5(実績事業場)	事業場別の特定自動車の台数
参考シート	はじめに	「自動車使用管理計画・実績報告」様式の簡単な説明書き
	排出係数	NOx・PM の排出量の算定に用いる排出係数一覧表
	産業分類表	業種番号の参照シート

(2) 自動車使用管理計画の記入方法

セルが水色の部分は、必須入力項目です。

管理計画については、R3～6年度
に提出済の事業者様は不要

【様式1-1(計画表紙)】

・特定事業者の「住所」「氏名」は、“本社”について記載してください。押印は不要です。

※官公署(国、地方公共団体)の場合

当該組織の所在地、名称、代表者の職(市長、企業管理者等)と氏名を記載してください。

・「大阪府における主たる事業場の所在地」は、組織上の位置付け(大阪本社など)、自動車使用台数、従業員数などを勘案したうえで、一つの事業場を“主たる事業場”としてください。

・提出後に「担当者氏名及び連絡先」(氏名、メールアドレス)に変更があった場合は、必ず大阪府へご連絡ください。

様式1-1(計画表紙)

大阪府知事 様

年 月 日

提出日を記載してください

水色の項目は必須入力項目です。セルの右上に赤い三角があるセルについては、カーソルを近づけると入力するための補足説明が表示されます。

本社の住所を入力してください。府外の場合は都道府県名も入力してください。

氏名

自動車使用管理計画書

自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法第33条に基づき、特定自動車の使用管理計画を次のとおり提出します。

特定事業者の氏名又は名称	0
大阪府における主たる事業場の所在地	〒 -
使用する特定自動車の台数	0 台
業 種 名	番号
事業の概要	
従 業 員 数	0 人
担当者氏名及び連絡先	所属・役職・氏名 所属所在地 電 話 FAX Eメール
整理番号 (※記入しないでください)	

様式 1-5(計画事業場)から自動表示されます。(電気自動車及び燃料電池車を除いた台数)

産業分類表シートを参照し、該当する業種番号を入力してください。

この管理計画を作成した担当者について入力してください。

電話番
内線番
番号

はじめに 様式1-1(計画表紙) 様式2-5(実績事業場) 排出係数(2017) 産業分類表

- 「電気自動車」と「燃料電池自動車」を含めて記載ください。
- 電気自動車等の台数を除くと台数が 30 台を下回る場合は管理計画の提出が不要になります。

【様式 1-2 (対象自動車)】

特定自動車について、管理計画作成時点における車両毎の情報を入力ください。

様式 1-2

入力した電気自動車、燃料電池車の台数が集計されます。

大阪府外のナンバーは入力しないでください。

使用の本拠の位置を移転して特定自

「廃止」を選択。

枠内の項目は車検証の情報を参照してください。(次ページ ※1 参照)

番号	事業場コード	ナンバープレート			初度登録年月	自動車の種別	型式	車両総重量(kg)	燃料種類	年間走行距離(km)	廃止	入力判定
		使用の本拠	分類番号	文字								
1	大阪	300	あ	1234		乗用車(軽乗用を除く)	DAA	1,295	ガソリン		廃止	○
2	大阪	300	い	1234		乗用車(軽乗用を除く)	DAA	1,635	ハイブリッド(ガソリン)			○
3	大阪	500	う	1234		乗用車(軽乗用を除く)	DAA	1,375	ハイブリッド(ガソリン)			○
4	大阪	500	え	1234		乗用車(軽乗用を除く)	DAA	1,375	ハイブリッド(ガソリン)			○
5	大阪	100	お	1234		普通貨物車	2RG	4,000	軽油			○
6	大阪	100	か	1234		普通貨物車	2RG	5,000	軽油		廃止	○
7	大阪	400	ぎ	1234		小型貨物車	3BF	1,701	ガソリン			○
8	大阪	400	く	1234		小型貨物車	3BF	1,701	ガソリン			○
9	大阪	200	け	1234		マイクロバス	3BE	1,310	ガソリン			○
10	大阪	200	こ	1234		大型バス	3BF	2,500	ガソリン			○
11	大阪	300	さ	1234		乗用車(軽乗用を除く)	ZAA	1,700	電気			○
12	大阪	300	し	1234		乗用車(軽乗用を除く)	ZBA	1,700	燃料電池(圧縮水素)			○
13												
14												
15												

初度登録年月、年間走行距離の入力は任意です。

【廃止】
管理計画作成の前年に
・廃車したとき
・使用の本拠位置を大阪府
対策地域外へ移転したとき
→「廃止」を選択。

必須入力項目で入力漏れ
や間違いがあれば「×」と表
示されます。「×」の場合は
修正をお願いします(9ペー
ジ ※2 参照)。

・矢印が表示される
項目は、矢印を
クリックすることで
ドロップダウンリスト
から入力項目を
選択できます。

事業場コード

番号

使用の本拠

分類番号

25

26

27

28

29

30

31

32

33

【事業場コード】

様式 1-5(計画事業場)シートの事業
場コードから選択。
入力漏れがあると事業場シートの台
数が自動計算されません。

【自動車の種別】

バス : 大型バス(乗車定員 30 名以上)またはマイクロバスを選択
特種車 : 乗用系またはそれ以外を選択

※ 1 車検証の参照項目

事業場 コード	ナンバープレート				初度登録年月	自動車の種別	型式	車両総重量(kg)	燃料種類	備考欄
	使用の本拠	分類番号	文字	指定番号						
1	なにわ	300	さ	1001	(改造)	乗用車(軽乗用を除く)	TA	2,160	天然ガス(CNG)	
1	なにわ	200	さ	1002	(改造)	大型バス	KK	10,800	天然ガス(CNG)	
1	なにわ	300	さ	1003		乗用車(軽乗用を除く)	CBA	1,315	ガソリン	
2	なにわ	400	す	1004		小型貨物車	QFE	1,665	天然ガス(CNG)	
2	なにわ	400	す	1005		小型貨物車	QFE	1,665	天然ガス(CNG)	
2	なにわ	400	す	1006		小型貨物車	QFE	1,665	天然ガス(CNG)	
2	なにわ	400	す	1007		小型貨物車	QFE	1,665	天然ガス(CNG)	
2	なにわ	200	す	1008		マイクロバス	GBE	2,885	ガソリン	

ナンバープレート表記を使用の本拠、分類番号、文字、指定番号毎に全て入力してください。

初度登録年月を入力してください。

「ナンバープレート」の「分類番号」を入力するとドロップダウンリストに自動車の種別が表示されます。

「型式」の「ー」の前のアルファベットをドロップダウンリストから選択(型式が空欄の場合は「ー」を選択)してください。

車両総重量を入力してください。

燃料の種類をドロップダウンリストから選択してください。

備考欄に記載があれば「あり」を選択してください。

番号 00123		自動車検査証		平成 5年 1月17日		平成 8年 9月		普通		貨物		自家用		キャブオーバー	
大阪 100 さ 〇〇〇〇		型式		U-FRR32G1		長さ		602cm		幅		220cm		高さ	
車体番号		原動機の型式		6HE1		総排気量又は定格出力		1000[850]kW		燃料の種類		軽油		型式指定番号	
FRR32G××××××××		長さ		602cm		幅		220cm		高さ		237cm		総重量	
2715[2730]kg		所有者の氏名又は名称		株式会社 〇〇〇〇〇〇〇		所有者の住所		大阪市住之江区×××町 〇〇-123		使用者の氏名又は名称		×××		使用者の住所	
×××		使用の本拠の位置		×××		有効期間の満了日		平成 18年 9月14日		備考		使用車種規制(NOX・PM)適合		NOX・PM法対応変更有。	
×××		×××		×××		×××		×××		×××		×××		×××	
×××		×××		×××		×××		×××		×××		×××		×××	
×××		×××		×××		×××		×××		×××		×××		×××	

・型式

最初のアルファベット2～3文字(識別記号)を入力(ハイフン以下は不要)。

型式●●●ー△△・△△：自動車製作者等が決めた記号(●はアルファベット)

●●●：自動車排出ガス規制及び低排出ガス車認定の識別記号。

・燃料(ハイブリッドの場合)

識別記号(●はアルファベット)	燃料
●A●、●L●	ハイブリッド(ガソリン)
●C●、●J●、●M●、●N●、●Q●	ハイブリッド(軽油)

※2 入力判定が“×”と表示される場合

番号	事業場コード	ナンバープレート				初度登録年月	自動車の種別	型式	車両総重量(kg)	燃料種類	年間走行距離(km)	廃止	入力判定
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号								
1	大阪	300	あ	1234		乗用車(軽乗用を除く)	DAF	1,295	ガソリン				×
2	大阪	300	い	1234		乗用車(軽乗用を除く)	DAA	1,635	軽油				×
3	大阪	100	お	1234		普通貨物車	2RG	2,000	軽油				×
4	大阪	100	お	1234		普通貨物車	2RG	4,000	軽油				×

- ・1行目の例は自動車の種別と型式があていない。
- ・2行目の例は型式と燃料種があていない。
- ・3行目の例は型式と車両総重量があていない。
- ・4行目の例は事業場コードが入力漏れ。

・入力判定が“×”と表示される場合は、

ナンバー「分類番号」、「自動車の種別」、「型式」、「車両総重量(kg)」、「燃料種類」の各項目が、車検証の内容の通り入力されているか、チェックしてください。

多い事例として、以下の事例があります。

・車検証の“車両総重量”ではなく、“車両重量”の値を入力している。

→ 車検証に“車両総重量”の数値が2つある場合、[]内の数値を入力するとエラーが消える場合があります。

・自動車の種別及び燃料種類についてリストにないものを入力している。

→ 自社製の自動入力システムで入力している場合に発生する場合があります。

・車両を改造(クレーンやタンクの取り付けによる重量の変更、燃料の変更など)している場合

車検証から正しく入力してもエラーが表示される場合があります。その際は大阪府までご連絡ください。車両総重量について、改造前の総重量がわかる場合は、それを記載してください。

【様式1-3(計画措置)】

それぞれの項目について実施計画の有無を選択し、実施する計画項目に○をつけ、その他の取組みがあれば「その他」欄に記入します。

独自の取組みについてはシートの一番下にある「特記事項」に記入してください。

「あり」又は「なし」を選択。

「適正運転の実施」、「車両の維持管理」は必ず「あり」を選択してください。

実施する項目に「○」をしてください。

様式1-3(計画措置)		適正運転の実施等及び車両走行量の削減の計画	
計画事項	計画の有無	計画項目	内容
車両の有効利用の促進	あり	☐ エコドライブマニュアルの作成、配布 ☐ エコドライブに関する教育、訓練の実施 ☐ エコドライブの実施(空ぶかし、急発進・急加速運転等の削減等) ☐ アイドリングストップの徹底 ☐ デジタル式運行記録計等の活用 ☐ 優良ドライバーの表彰 ☐ その他()	エコドライブの取組み、アイドリングストップの徹底は必ず「○」をしてください。
	あり	☐ 日常点検・整備 ☐ エコドライブマニュアルの作成、配布 ☐ 日常点検・整備 ☐ エコドライブに関する教育、訓練の実施 ☐ その他()	項目にない場合は、「その他」に入力してください。
		☐ エアコンの使用 ☐ 運転の集中 ☐ その他()	
		☐ 物流業務の共同化(輸送距離、使用車両の削減) ☐ その他()	
		☐ 配送と集荷を1台で実施できるように工夫 ☐ その他()	
		☐ 時間指定配送の回数の低減を要請 ☐ その他()	
		☐ 受注時間と配送時間の設定(ルール化)	

モーダルシフトの推進		☐ 鉄道輸送の活用 ☐ 海運の活用 ☐ その他()	
公共交通機関の利用の促進	あり	☐ 鉄道、バス等の公共交通機関の利用 ☐ 自転車、徒歩による移動 ☐ マイカー通勤の禁止 ☐ カーシェアリングの活用	公共交通機関の利用の促進は可能な場合は「あり」を選択してください。
情報化の推進	あり	☐ 車載ナビの活用 ☐ 燃費等の表示 ☐ VICS搭載 ☐ ETCの導入 ☐ その他()	
物流施設の高度化、物流拠点の整備等	あり	☐ 既存施設の荷受け、仕分け ☐ 荷捌き場、駐車場所、運転手控室などの整備 ☐ 路上駐車場の自粛 ☐ その他()	
その他	あり	☐ ISO14001の認証を取得 ☐ エコアクション21等の環境マネジメントシステムの認証を取得 ☐ グリーン経営認証の取得 ☐ 環境報告書 ☐ その他()	その他、独自の取組みについてこちらに入力してください。
上記についての特記事項(独自の取組について記載してください)			

【様式1-4(計画代替)】

令和7年度までの特定自動車の代替計画について記入します。

※対象自動車から軽自動車へ代替する場合は、台数の削減となります。

1	様式1-4(計画代替) 特定自動車代替計画、排出ガス低減装置装着計画																	
2			現状の 台数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合 計									
3			令和 年 月 日	減少 台数	新規 使用 台数	減少 台数	新規 使用 台数	減少 台数	新規 使用 台数	減少 台数	新規 使用 台数	減少 台数	新規 使用 台数	保有台数 (年度 末)				
4																		
5																		
6	天然ガス																	
7	ハイブリッド																	
8	プラグインハイブリッド																	
9	ラゲ グハ ドイ を 除 ハ ク イ ツ ブ ド リ ッ プ	新☆☆☆																
10		新☆☆☆☆以上																
11		他																
12		新長期																
13	を 除 く ハ イ ブ リ ッ ド ・	新☆ (新長期)																
14		ポスト新長期 以上																
15		他																
16	電気																	
17	メタノール																	
18	燃料電池																	
19	合 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
20	うち係公務車の合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
21	うち排出ガス低減装置 装着車の合計		0															

令和7年度に管理計画を提出する場合は令和6年3月31日現在と入力してください。

NOx、PMの排出量がより少ない車両への転換を進めてください。

様式1-2から自動計算されます。

マイナスの値が表示されている場合はエラーの可能性があります。減少台数と新規使用台数を確認してください。

(参考)ガソリン、軽油の燃料区分について

排出係数による燃料区分		説 明
ガソリン・LPG (ハイブリッド除く)	新☆☆☆	平成 17,21 年基準排出ガス 50%低減レベルのもの (平成 30 年規制以降のものを含む) (識別記号:CB●、M●●など※)
	新☆☆☆☆以上	平成 17,21 年基準排出ガス 75%低減レベル以上のもの(平成 30 年規制以降のものを含む) (識別記号:DB●、R●●など※)
	他	その他のガソリン・LPG 車
軽油 (ハイブリッド除く)	新長期	平成 17 年規制適合車で、「新☆」と「ポスト新長期」以外のもの(識別記号:アルファベット 3 文字※※)
	新☆ (新長期)	平成 17 年基準排出ガス NO _x &PM10%低減、NO _x 10%低減、PM10%低減レベルのもの (識別記号:BD●、BK●、ND●、NK●、PD●、PK●など※※)
	ポスト新長期以上	平成 21、22 年規制以上の適合車(平成 28 年規制以降のものを含む) (識別記号:LD●、QD●、S●●、T●●など※※)
	他	その他のディーゼル車 (識別記号:アルファベット 2 文字)

※ 識別記号●A●、●L● → 燃料区分:ハイブリッド(ガソリン)

※※識別記号●C●、●J●、●M●、●N●、●Q● → 燃料区分:ハイブリッド(軽油)

ガソリン車なら 他 <新☆☆☆ (ポスト新長期、新長期) <新☆☆☆☆ (ポスト新長期、新長期)

ディーゼル車なら 他 <新長期 <新☆ (新長期) <ポスト新長期

の順で強化された排ガス規制に適合した車両となります。

【様式1-5(計画事業場)】

特定自動車を使用する事業場について記載してください。

事業場数が多い場合は、車両を管理する事業場単位でも構いません。

※令和6年度実績を報告される特定事業者の場合は、令和6年度末(令和7年3月31日)時点の状況を記載してください。

※台数は、様式1-2から自動計算されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	様式1-5(計画事業場)					事業場別									
2	事業場コード					1	2								
3	事業場の名称														
4	事業場の所在地														
5	事業場の連絡先														
6	従業員数														
7	種類	車両総数	合計	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数
8	普通貨物自動車	17以下 下 17以上 ～25 以下 25以上 ～35 以下 35以上	2	2											
9	小型貨物自動車	17以下 下 17以上 ～25 以下 25以上 ～35 以下 35以上													
10	大型バス	17以下 下 17以上 ～25 以下 25以上 ～35 以下 35以上													
11	マイクロバス	17以下 下 17以上 ～25 以下 25以上 ～35 以下 35以上													
12	特種自動車	17以下 下 17以上 ～25 以下 25以上 ～35 以下 35以上													
13	合計		4	4											
14	普通貨物自動車	17以下 下 17以上 ～25 以下 25以上 ～35 以下 35以上													
15	小型貨物自動車	17以下 下 17以上 ～25 以下 25以上 ～35 以下 35以上													
16	大型バス	17以下 下 17以上 ～25 以下 25以上 ～35 以下 35以上													
17	マイクロバス	17以下 下 17以上 ～25 以下 25以上 ～35 以下 35以上													
18	特種自動車	17以下 下 17以上 ～25 以下 25以上 ～35 以下 35以上													
19	合計		5	5											
20	普通貨物自動車	17以下 下 17以上 ～25 以下 25以上 ～35 以下 35以上													
21	小型貨物自動車	17以下 下 17以上 ～25 以下 25以上 ～35 以下 35以上													
22	大型バス	17以下 下 17以上 ～25 以下 25以上 ～35 以下 35以上													
23	マイクロバス	17以下 下 17以上 ～25 以下 25以上 ～35 以下 35以上													
24	特種自動車	17以下 下 17以上 ～25 以下 25以上 ～35 以下 35以上													
25	合計		18	18											

従業員数を入力すると、合計が様式1-1(計画表紙)シートの従業員数に反映されます。

様式1-2から計画前年度末時点の台数が自動集計されます。

昨年度から引き続き実績報告を提出される事業者様は大阪府から送付するファイルをお使いください。

(3) 自動車使用管理実績報告の記入方法

セルが水色の部分は、必須入力項目です。

【様式2-1(実績表紙)】

- ・特定事業者の「住所」「氏名」は、“本社”について記載してください。押印は不要です。
※官公署(国、地方公共団体)の場合
当該組織の所在地、名称、代表者の職(市長、企業管理者等)と氏名を記載してください。
- ・「大阪府における主たる事業場の所在地」は、組織上の位置付け(大阪本社など)、自動車使用台数、従業員数などを勘案したうえで、一つの事業場を“主たる事業場”としてください。
- ・提出後に「担当者氏名及び連絡先」(氏名、メールアドレス)に変更があった場合は、必ず大阪府へご連絡ください。

様式2-1(実績表紙)

大阪府知事 様

年 月 日

提出日を記載してください

住所

フリガナ

氏名

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

自動車使用管理実績報告書

自動車から排出される空素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法第34条に基づき、特定自動車の使用管理計画の実績を次のとおり報告します。

特定事業者の氏名又は名称

大阪府における主たる事業場の所在地

使用する特定自動車の台数

業種名

番号

事業の概要

従業員数

担当者氏名及び連絡先

所属・役職・氏名

所属所在地

電話

FAX

Eメール

整理番号 (※記入しないください)

様式2-4(実績代替) / 様式2-5(実績事業場) / 排出係数 / 産業分類表

- 「電気自動車」と「燃料電池自動車」を含めて記載ください。
- 電気自動車等の台数を除くと台数が 30 台を下回る場合は大阪府へご連絡ください。

【様式2-2(対象自動車)】

実績年度 1 年間(令和 6 年度実績であれば令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで)
における特定自動車の車両毎の使用状況を入力してください。

様式 2-2

まず **実績年度** を必ず選択してください。

大阪府外のナンバーは入力しないでください。

枠内の項目は車検証の情報を参照してください。(8ページ ※1参照)

事業場コード	ナンバープレート			初度登録年月	自動車の種別	型式	車両総重量(kg)	燃料種類	年間走行距離(km)	新規 or 廃止	入力判定
	使用の本拠	分類番号	文字指定番号								
1	大阪	300	あ	1234	乗用車(軽乗用を除く)	DAA	1,234	ガソリン			○
2	大阪	300	い	1234	乗用車(軽乗用を除く)	DAA	1,234	ハイブリッド(ガソリン)			○
3	大阪	500	う	1234	乗用車(軽乗用を除く)	DAA	1,234	ハイブリッド(ガソリン)			○
4	大阪	500	え	1234	乗用車(軽乗用を除く)	DAA	1,234	ハイブリッド(ガソリン)			○
5	大阪	100	お	1234	普通貨物車	2PG	4,000	軽油			○
6	大阪	100	か	1234	普通貨物車	2PG	5,000	軽油		新規	○
7	大阪	400	き	1234	小型貨物車	3BF	1,700	ガソリン		新規かつ廃止	×

様式 2-5(実績事業場)シートの 事業場コードを選択。

記入漏れがあると、事業場シートの台数が自動で計算されません。

初度登録年月、
年間走行距離の記入は
不要です。

必須入力項目で入力
漏れや間違いがあれば「×」と表示されま
す。「×」の場合は修正
をお願いします(9ペー
ジ ※2 参照)

- ・「自動車の種別」は「ナンバープレート」の「分類番号」を入力するとドロップダウンリストに表示されます。

事業場コード	使用の本拠	分類番号	文字指定番号	初度登録年月	自動車の種別	型式	車両重量
1	なにわ	300	さ	1001 (改造)	乗用車(軽乗用を除く)	ITA	2
1	なにわ	200	さ	1002 (改造)	大型バス	KK	10
1	なにわ	300	さ	1003	乗用車(軽乗用を除く)	QBA	1
2	なにわ	400	ず	1004	小型貨物車	QFE	1
2	なにわ	400	ず	1005	小型貨物車	QFE	1
2	なにわ	400	ず	1006	小型貨物車	QFE	1
2	なにわ	400	ず	1007	小型貨物車	QFE	1

- ・バス : 大型バス(乗車定員 30 名以上) または マイクロバス を選択
- ・特種車: 乗用系 または それ以外 を選択

実績年度に以下の場合は、
「新規」「廃止」「新規かつ廃止」を選択してください。

「新規」

- ・新車又は中古車を新規導入したとき。
- ・使用の本拠の位置を移転して特定自動車となったとき(大阪府対策地域内へ移転したとき)

「廃止」

- ・廃車したとき。
- ・使用の本拠の位置を移転して特定自動車ではなくなったとき(大阪府対策地域外へ移転したとき)

「新規かつ廃止」

- ・実績年度内に新規導入した自動車を、同年度内で廃止または移転したとき。

【様式2-3(実績措置)】

実績年度に実施した項目に○をつけ、その他の取組みがあれば「その他」欄に記入します。

独自の取組みについてはシートの一冊下にある「特記事項」に記入してください。

様式 1-3(計画措置)シート
の値が自動表示されます。

実施した項目に「○」をしてください。

様式2-3(実績措置) 適正運転の実施等及び車両走行量の削減の実施状況

計画事項	計画の有無	実施項目	内 容
適正運転の実施	あり	○	エコドライブマニュアルの作成、配布
		○	エコドライブに関する教育、訓練の実施
		○	エコドライブの実施(空ぶかし、急発進・急加速運転等の
		○	アイドリングストップの徹底
			デジタル式運行記録計等の活用
			優良ドライバーの表彰
			その他()
車両の維持管理	あり	○	日常点検・整備マニュアルの作成、配布
		○	日常点検・整備に関する教育の実施
		○	日々の始業・終了時の点検
		○	エアークリーナーの定期的な清掃
		○	運転日報の作成
			その他()
共同輸配送の促進			物資の集荷、仕分け業務の共同化(積載効率、輸送効率の向上)
			配送業務の共同化(輸送距離、使用車両の削減)
			その他()
帰り荷の確保			配送と集荷を1台で実施できるように工夫
			その他()
			時間指定配達や日数の短縮等
物流施設の高度化、物流拠点の整備等	あり		荷捌き場、駐停車場所、運転手控室などの整備
		○	路上駐停車の自粛
			その他()
その他	あり		ISO14001の認証を取得
			エコアクション21等の環境マネジメントシステムの認証を取得
			グリーン経営認証の取得
			環境報告書の作成
		○	その他()
上記についての特記事項(独自の取組について記載してください)			その他、独自の取組みについてこちらに入力してください。

シート右にある“貼り付け用”表の紫色セル部分には、実績排出量シートからの自動計算により、実績年度における「減少台数」「新規使用台数」が表示されています。この紫色セル部分をコピーして、該当する実績年度の紫色部分に【値の貼り付け】をしてください。

$$(\text{実績年度の合計台数}) = (\text{前年度の合計台数}) - (\text{実績年度の減少台数}) + (\text{実績年度の新規使用台数})$$

様式2-4 (記載代用)		特定自動車代替状況、排出ガス低減装置装着状況																
計画作成 年の台数	令和 年 月 日 現在	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			合 計	
		減少 台数	新規 使用 台数	合計	減少 台数	新規 使用 台数	合計	減少 台数	新規 使用 台数	合計	減少 台数	新規 使用 台数	合計	減少 台数	新規 使用 台数	合計	減少 台数	新規 使用 台数
天然ガス																		
ハイブリッド																		
プラグインハイブリッド																		
ガ イ ル ガ ン ソ ル イ ン ジ ン ボ ー ラ ー ト リ ド ラ ン ス ト ロ ン グ ラ フ イ ン ジ ン ハ イ ブ リ ッ ド を ・ 除 く 一 部	新車 ☆☆☆☆ 以上																	
	他																	
ラ ン グ ラ フ イ ン ジ ン ハ イ ブ リ ッ ド を ・ 除 く 一 部	新規 ※																	
	新車 (新規) 以上																	
	他																	
電気																		
水素燃料																		
燃料電池																		

実績年度の紫色の部分は、右側「貼り付け用」のセルをコピーして、「値のみ」を張り付けてください。
(次ページ ※参照)

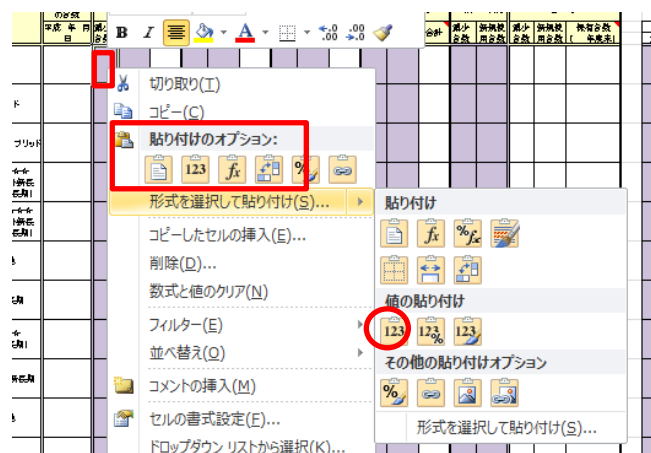
合計に赤字でマイナスの値が表示されている場合は、減少台数と新規使用台数を確認してください。

※「値のみ」を張り付ける方法

- ① すべての紫色セル部分を範囲選択し、コピーします。



- ② 貼り付ける場所(実績年度)の一番左上にあたるセルを、右クリックし、「貼り付けのオプション:」から **123** 「値(V)」、または「形式を選択して貼り付け(S)」をクリックし、サブメニューから **123** 「値(V)」を選択します。



- ③ これで、値のみが貼り付けされます。

【様式2-5(実績事業場)】

実績年度 1 年間に特定自動車を使用した事業場について、実績年度末時点の状況を記載してください。

事業場数が多い場合は、車両を管理する事業場単位でも構いません。

※車種別の台数が、様式 2-2(実績排出量)シートから自動集計されます。

(例)令和 6 年度実績を 7 年度に報告する場合
「令和 7 年 3 月 31 日現在」

様式2-5(実績事業場)		事業場別の特定自動車の台数									
		平成 年 月 日 現在									
事業場コード	事業場の名称	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
事業場の所在地											
事業場の連絡先											
従業員数											
種類	車両総重量	合計	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数
普通自動車	1.7t以下	2	2								
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
	3.5t超										
小型自動車	1.7t以下	4	4								
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
	3.5t超										
大型バス	1.7t以下	2	2								
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
	3.5t超										
マイクロバス	1.7t以下	2	2								
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
	3.5t超										
特殊自動車	1.7t以下	4	4								
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
	3.5t超										
専用自動車		6	6								
合 計		20	20								

従業員数を入力すると、合計が様式 2-1(実績表紙)シートの従業員数に反映されます。

様式 2-2(実績排出量)シートから自動集計されます。